

■ 2. 『柏原市行財政健全化戦略』の理念

1. これからの行財政改革の取り組み

『柏原市行財政健全化戦略』に基づく行財政改革の推進

平成21年度までの取り組みである『柏原市新行財政計画』の後継として『**柏原市行財政健全化戦略**』を策定し、引き続き行財政改革の取り組みを推進していきます。

『柏原市行財政健全化戦略』の位置づけ

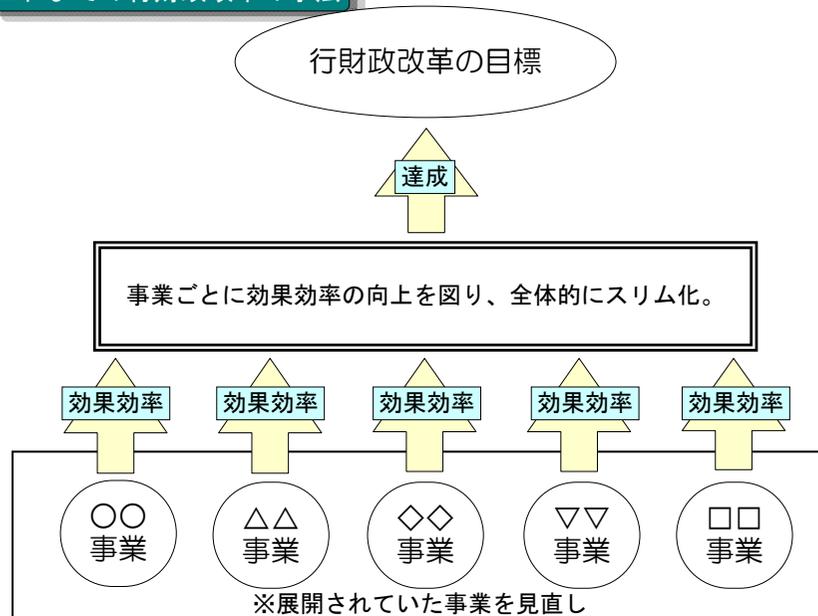
行財政改革の必要性を考える材料に「収支見通し」があり、また、この見通しは行財政改革の成果を計る“ものさし”の一つともなります。平成22年3月現在の見通しでは、平成24年度決算で「財政健全化団体に転落する」恐れがあるとなっています。

そこで、平成22年度から平成26年度までの5年間を集中取り組み期間とし、『柏原市行財政健全化戦略』のもと「財政健全化団体への転落回避」に向けて、あらゆる取り組みを実践していきます。（社会情勢や経済状況の変化により改定が必要となった場合は、その都度内容の見直しを行います。）

プランからマネジメントへの移行

これからの行財政改革には、時々々の情勢や状況の変化に対し適切に対応していくことが求められています。そのため『柏原市行財政健全化戦略』では「改革を推進するための計画（プラン）」から「**改革をいかに推進するか（マネジメント）**」という方法へと移行していきます。

これまでの行財政改革の手法



今後の行財政改革の手法

